



麦笛

20号

2013年12月14日

発行
東京尊商会広報委員会

発行人
村井 健 (51期)

E-mail
murai-49@central-consul.
co.jp

同窓の絆

ますのご発展と会員皆様のご健勝・ご活躍と共に新年を穏やかに迎えられますようご祈念申し上げます。

ご挨拶

小樽商業高等学校
校長 新山俊彦



私は、この春の異動により、金濱茂前校長先生の後任として4月1日に釧路商業から着任いたしました。

私自身が、本校の57期（昭和49年3月）卒業生でもあり、その歴史や伝統、さらには北海道における商業教育の中核校としての役割を考えるとき、その職責の重大さを痛感しているところであります。もとより微力ではありますが、本校発展のため、誠心誠意努力する所存でございますので、よろしくお願いいたします。

さて、ご存知の通り本校は今年、開校100年目を迎えました。10月12日（土）には10時30分より記念式典が厳粛な雰囲気の中、挙行されました。

た。

特に、生徒会長の挨拶には数々のお褒めの言葉をいただき、生徒、教職員共々、伝統を受け継ぐことの重責を感じているところでございます。その後13時30分から『大人も子供も心豊かに生きるために』と題し、「香山リカ」さんによる講演会が行われました。17時から、尊商會会員の皆様を始め、予想を超える多数の参加者のもと、祝賀会が盛大に行われました。

式典を始め、100周年関連行事にご参加いただきました多くの尊商會の皆様に改めて感謝とお礼を申し上げます。

この記念すべき節目の時に、学校が何をすべきなのか、また、何が出来たのかを、生徒、保護者と共に考え、新たな、そして確実な一歩を踏み出さなければなりません。

私の願いが、教職員の願いであり、そして生徒、保護者の願いとなるような、泥臭くて、温かな高校を目指すために、今こそ教育の原点に返り、校訓である「四恩感謝」の精神のもと、保護者・教職員が一体となり取り組んでまいりたいと考えます。

今後とも尊商會の皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

母校100周年記念式典を盛大に終わる

東京尊商会皆さまに感謝

小樽尊商會会長

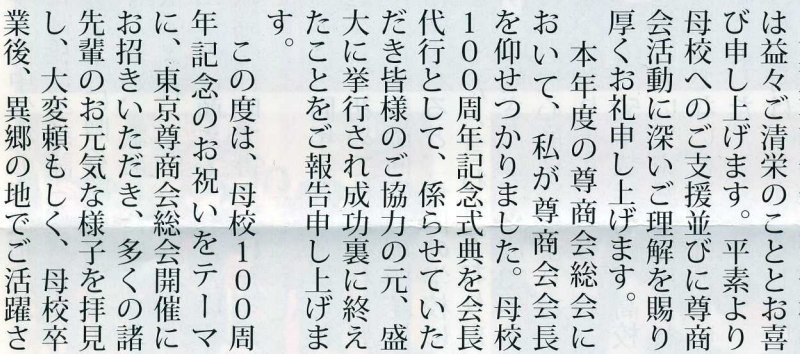
大森富美雄（51期）

東京尊商會会員の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より母校へのご支援並びに尊商會活動に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度の尊商會総会において、私が尊商會会長を仰せつかりました。母校100周年記念式典を会長代行として、係らせていただき皆様のご協力の元、盛大に挙行され成功裏に終えたことをご報告申し上げます。

この度は、母校100周年記念のお祝いをテーマに、東京尊商會総会開催にお招きいただき、多くの諸先輩のお元氣な様子を拝見し、大変頼もしく、母校卒業後、異郷の地で活躍さ

北海道小樽商業高等学校 創立100周年記念式典



旅立ちの日に

鹿摩 勇夫（39期）



東日本
大震災発
生以来こ
のところ、

日本列島

は猛暑、豪雨、竜巻の発生など異常気象と共に、自然界が荒れ狂っているように感じられます。

ここ横浜の地は災害にも大きな被害も被ることなく平穏に至っております。

故郷の小樽を離れて53年になります。春の卒業時期を迎えますと自分の卒業式を懐かしく思い出されます。

卒業式も変わるもので、今は「蛍の光」「仰げば尊し」が聞かれなくなった学校もあると聞いております。

その中であって、全国の小中学校の卒業式で歌われている「旅立ちの日に」の曲が大好きだそう。私も大好きで秋川雅史さんのCDに入っており、聞いております。

その歌を作詞した小嶋登さんは、1988年に荒れていた秩父市立影森中学校の校長となり「歌声の響く学校」として再生を目指しました。

定年退職を控えた1991

年、同中学校の音楽担当だった高橋浩美教諭（49歳）から、「卒業生に贈る歌詞を作ってください、歌にしたい！」と依頼され、「白い光の中に、山なみは萌えて」などという歌詞を一晚で書き上げたそうです。

歌は、同年3月、3年生を送る会で初めて披露され、翌年、音楽教師向けの専門誌に掲載されると、全国の学校に広まったと言われております。小嶋さんは、平成23年1月に急性心筋梗塞により亡くなっております。

さて、50年数年前は、高校進学において家庭的に恵まれた環境でないと進学は難しい時代でした。

私自身は、父を亡くしているにも拘わらず、母と兄の愛情により、3年間の全日制高校で学ぶことが出来ました。

その卒業式で、定時制のPTA会長が「千里の道も一歩からです。今日から、大地にしっかりと足をつけて一歩一歩着実に歩んでください。また4年間、仕事と勉学を両立させて、卒業まで漕ぎつけた定時制の生徒に温かい気持ちで接してあげてください。」と話され、これに感動し、定時制の生徒にエールを贈りました。

後年、私も働く傍ら小樽商大の短大に学ぶこととなり、PTA会長の言葉を身に染みて感じましたが、貴重な青春の一時期、自由に振る舞うことが出来たことは、思い出しても本当に幸福なことです。

私の千里に道については、はたしてどこまで歩んできたのか、解りませんが、この先も一歩一歩着実に進み続けることが出来ることを願っております。

「旭に匂ふ緑が陵に…」

東京にて

倉地 香洋子（51期）

今年は母校創立100周年の記念の年。初めて東京尊商会に出席しました。「同窓の絆」会場は母校愛であふれていました。この時出席して良かったとの思いは、この上ない喜びに変わりました。

私は昭和40年最後の緑陵高校入学生でした。入学早々、前任校でボート部の監督をしていた乙坂先生と出会いました。「ボートに乗ってみたいか、海の上から見る夕日はきれいだぞ」と誘われ、興味半分から北海製罐の地下艇庫へ。初めてみる艇とオールの長さは未知の世界でした。すべて借り物でしたが10数人の



1年生女子が集まり「ボート同好会」。にぎやかな船出でした。

全員1年生のクルーは何もかもが初めてで、国体初出場しました。しかし経験、体力不足で健闘むなしく敗退。

この経験を糧に3年計画で「日本一」を目指して猛練習が始まりました。3年目に念願の「ボート部」に昇格。

5月24日待望の自艇「マリーキュリー号」の進水式は忘れられません。また全国大会で第3位に入賞し、これも必死に練習したたまものかと思いました。昭和43年の卒業後には、後輩が「全国大会優勝」を成し遂げてくれました。同好会から始まり4年目での「日本一」でした。その後10

年は続いて、以降ボート部の活動はありません。

このような訳で100周年を前にボート部を復活させたいと秘かに願い、一念発起して日本体育協会公認指導員資格を取得。あとは顧問を引き

▲昭和42年8月インターハイ（福井県三方五湖）第3位入賞。右（S）は倉地さん

受けてくれる先生が手を挙げてくれることを願っています。私のボート人生は緑陵から、樽商、三馬ゴム、そして40歳を過ぎて復活し、今も樽商の後輩と漕いでいます。生涯スポーツとしてマスターズに出場できる幸せ。懐かしい仲間に出会える喜びを味わって人生を謳歌しています。最後に母校の益々のご発展と、東京尊商会の皆さまのご健勝をお祈りします。



▲平成24年マスターズ（混合エイト）45年ぶりの戸田コース 右から4番目漕いでいるのが倉地さん



PHOTO FLASH

10月19日、八重洲富士屋ホテル
で行われた東京尊商会
「同窓の絆の会」



一筆啓上

43期 原田登志子

同窓の100年の絆、その年にこの場に
いることに、歴史を感じます。同期13名の
参加を嬉しく感じます。70歳をひとつ、ふ
たつ過ぎ、見た目は普通でも若い頃と違い
健康を一番に思う年頃です。同じ時を過
した仲間と来年も語りましょう。

45期 岩本幹夫

「100周年オメデトウ」今後とも200周
年を迎えるようにガンバッテ下さい。健康
第一で、すごして下さい。

45期 神保啓美(旧姓・武田)

女性お二人参加あり、とても嬉しい同窓会
になりました。これからは出来るだけ参加
したいと思っています。益々の会のご発展を願
っております。

46期 矢嶋志ん子

高校の思い出は、きらきらして私の力になっ
ています、これからも頑張つて生きて行き
たいと思います。

46期 倉重敬子

時の経つのは早いですね！今でも10代の
気分ですが母校に誇りをもつて人と人との
絆を大切に人生を全うしたい気持ちです。
小樽商業ありがとう！

47期 戸井吾郎

小樽に地獄坂があるかぎり、我が母校の思
い出は消えず。

53期 坂崎登

花園小学校下の自宅からミルクプラントの
ある公園通を、緑の木々と新鮮な空気を吸
いながら緑町の母校へと通った3年間とし
た。特に映画館、ばんじゅう屋、ラーメン
店等、当時の華やかで元気な街との青春の
一ページでした。

66期 白井雄太

今日は校歌を歌いに来ました。数十年前
でしたが、間違わないで歌えました。

平成24年度 会計報告

東京尊商会

平成24.4.1～H25.3.31

(単位:円)

収入の部			支出の部		
項 目	内 訳	金 額	項 目	内 訳	金 額
繰越金	前期より	1,050,189	支出計		1,221,857
	内・普通預金	311,287			
	内・郵便当座預金	509,584	総会費	会場費等	671,038
	内・手持現金	229,318	印刷発送費	総会案内等	207,202
			会議費	幹事会・会合等	129,545
収入計		1,489,546			
総会会費	7,000*83	581,000	会報費	麦笛17、18号	127,840
	総会寸志	50,000			
年会費	振込分343名	356,000	事務費	事務用品費	25,489
	(会場分含む)			ホームページ管理費	12,573
			手数料	会費振込手数料等	38,170
			慶弔費	祝金・見舞金	10,000
その他収入	寄付金・保志様	500,000	繰越金	次期へ	1,317,878
	水晶記念品売却	2,500		内・普通預金	283,493
	預金利息	46		内・郵便当座預金	827,414
		1,489,546		内・手持現金	206,971
合 計		2,539,735	合 計		2,539,735

お知らせ

来年の東京尊商会総会は

平成 26 年 10 月 25 日土曜日

15:30 から下記ホテルで開催します

場所: ホテル東京ガーデンパレス

住所: 東京都文京区湯島 1-7-5

御茶ノ水駅下車・聖橋口より徒歩 5 分

事務局へのご連絡は

浜谷哲男 thamatani@tbd.t-com.ne.jp
メール thamatani@tbd.t-com.ne.jp
会員の住所変更など、気軽に相談下さい。
ご意見大歓迎!

平成 24 年度 東京尊商会活動報告

平成 24 年	4 月 28 日	役員会 (横川電機会議室)
	6 月 9 日	役員会 (横川電機会議室)
	6 月 21 日	第 9 回東京尊商ゴルフ会 (船橋カントリークラブ)
	6 月 30 日	尊商会本部総会
	8 月 25 日	役員会「同窓の絆」案内状発送作業 (横川電機会議室)
	10 月 6 日	役員会 (横川電機会議室)
	10 月 20 日	東京尊商会「同窓の絆」(八重洲富士屋ホテル)
	11 月 7 日	第 10 回東京尊商ゴルフ会 (長太郎カントリークラブ)
	12 月 8 日	役員会「同窓の絆」報告書発送作業 (横川電機会議室)
		「麦笛」第 18 号発行
平成 25 年	3 月 9 日	役員打合せ (横川電機会議室)

編集後記

100周年記念式典に参加して

「創立100周年」に参加。朝から強い雨でしたが8時近くには上がり、小樽駅からの貸切バスで高校に向かい、東京尊商会会長、役員もたくさん東京から参加されました。

記念式典は吹奏楽部のファンファーレで始まり、開会の辞、黙とう、君が代、校歌、校長挨拶、尊商会会長挨拶、感謝状贈呈に続き小樽市長、道教育長、全国商業高校協会理事長の祝辞があり、商業として北海道を引っ張ってきたことへの相応のお言葉がありました。これも先輩方の努力と忍耐の結晶だと感激いたしました。

最後に男子の生徒会長が「将来に向けて頑張ります!」と、堂々の挨拶でした。来賓者も議員・各地教育長・全道及び後志管内の商業高校校長・PTA等たくさんのお出でありがとうございました。

午後、小樽グランドパークホテルにて、100周年の記念講演会があり、私はそのあとに記念出版を予定している本のため、緑光寮の当時の様子を座談会でお話しました。出版物は来年でき上がるようです。ご期待ください。

また5時半から同ホテルで記念祝賀会あり、来賓・旧職員・PTA・現職員と東京尊商会・最高齢の23期から95期までが出席。多人数のため、後輩たちは別室でテレビモニターを見ながらの参加でしたが、それぞれの話に盛り上がったようです。その後私ども51期は花園町のスナックへ。後輩達と合流し、自己紹介しながら楽しく過ごし、最後に喫茶店へ行き一日が終わりました。

2013年もあと半月で、新年を迎えます、新たな気持ちでまた会員皆様と親睦をはかる広報誌として努力させていただきます。

また小樽商業高校に係わるお話等ございましたら、ぜひ原稿・メールをいただければ幸いです。